

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成7年～		根拠法令・例規等		文化財保護法	
事業開始年度				問	担当課(室)	生涯学習課	
総合計画	大項目	基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	職・氏名	文化係長 石井啓	
計画	中項目	基本計画	03	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち	電話	64-1841	
	小項目	施策	10	歴史文化の活用と伝統文化の継承	このシート作成に要した時間 3.5 時間		
事務事業名		01		文化財保護事業			

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	文化財や地域文化などに興味がある人全般
目的(何のために)	文化財や地域の文化遺産を保護、活用することで、地域文化の向上を図る。また、六古業の一つと言われながら、調査、研究が遅れている備前焼について、その歴史についての未解明な部分を明らかにしていくと同時に活用を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地域の文化財や文化について多くの人に情報提供することで、郷土の文化財の保護や活用について興味や理解を促し、貴重な文化財を後世に引き継ぐという認識を深める。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	文化財保護管理運営事業		◎
		・指定文化財の保護保存のため、市指定名勝深谷の滝遊歩道災害復旧工事への補助、市指定文化財大内神社本殿防災設備整備への補助、市指定文化財正楽寺山門保存修理への補助、伊部南大窯跡その他史跡等の草刈を実施。		
		・文化財を周辺も含めて総合的に保存活用していくための「備前市歴史文化基本構想」を策定した。策定委員会の開催、パブコメの実施、教育委員会議への報告など諸手続きを経た。		

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	37,903	13,854	14,364
	必要人員	人	1.54人	1.43人	1.10人
	事業費計		51,232	26,195	24,280
	国県支出金	千円	23,659	2,500	12
	受益者負担				
	繰入金				
市債					
その他(使用料・本売上代)			3,900	1,095	79
一般財源			23,673	22,600	24,189
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
指定文化財等対応件数	説明	文化財等の調査、確認、事業の実施、来客や問合せへの対応など			
結果指標量	件	315	180	165	
対前年比	%	-	57.1%	91.7%	
活動コスト	円	51,232,000	26,195,000	24,280,000	
単位当たりコスト	円	162,641	145,528	147,152	

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
指定文化財等対応件数	目標値(A)	150	150	160	160	
	実績値(B)	315	180	165	到達目標値	
	達成率(B/A)	210.00%	120.00%	103.13%	150	
成果指標設定の考え方・式や説明						
地域内にある文化財や文化遺産の保存活用が目的のため、調査、確認、事業実施、窓口、電話での問合せなどの対応件数を成果指標とした。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や 高 低 高 低 B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 高 B C 低 D いや普通や や通や C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や 高 低 C

進行年度(H25年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	○						
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
○															
説明	文化財関連事業については、「備前市歴史文化基本構想」の具体的なメニューをもとにまちづくりの資源として、文化施設とともに連携をしながら着実に推進していく必要がある。														

総合評価	
文化財を保護、活用し、地域の文化遺産として、またまちづくりの材料として考えていくため、平成25年度に策定した「備前市歴史文化基本構想」に基づく事業を展開していく必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通や 高 低 B

平成26年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	○						
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
○															
取組目標	備前市歴史文化基本構想にあげられている具体的なメニューの事業実施。														

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意し